

地元企業の景況 第53号

郡上市八幡町新町961番地
 八幡信用金庫
 総務・企画本部
 TEL (0575) 65 - 3407
 FAX (0575) 66 - 2252

< 業況判断 >

今期業況3期連続悪化するも、来期はやや改善の見通し

業況判断図（業種ごとの業況を表情図で示しました。）

今期（平成20年4～6月期）

1. 今期の業況判断D.I.は 54.8と前期（平成20年1月～3月期） 48.2に比べ6.6ポイント悪化。
2. サービス業、農業、小売業で改善が見られたものの、不動産業で横這い、飲食業、建設業、製造業、卸売業で悪化。地域内の業況は依然として厳しい状況。

来期（平成20年7～9月期）

1. 来期の業況判断D.I.は 53.1と今期 54.8に比べ1.7ポイント改善予想。
2. 不動産業、卸売業、製造業でポイント悪化するも、飲食業、サービス業で横這い、農業、建設業、小売業では若干の改善予想となっているものの依然として厳しい状況は変わらず。

業種	前期 H20年 1～3月	今期 H20年 4～6月	来期 H20年 7～9月
製造業			
卸売業			
小売業			
飲食業			
サービス業			
建設業			
不動産業			
農業			
全業種			

きわめて不振 DI < 30	不振 30 DI < 15	やや不振 15 DI < 0	まあまあ 0 DI < 15	好調 15 DI < 30	特に好調 30 DI

調査概要

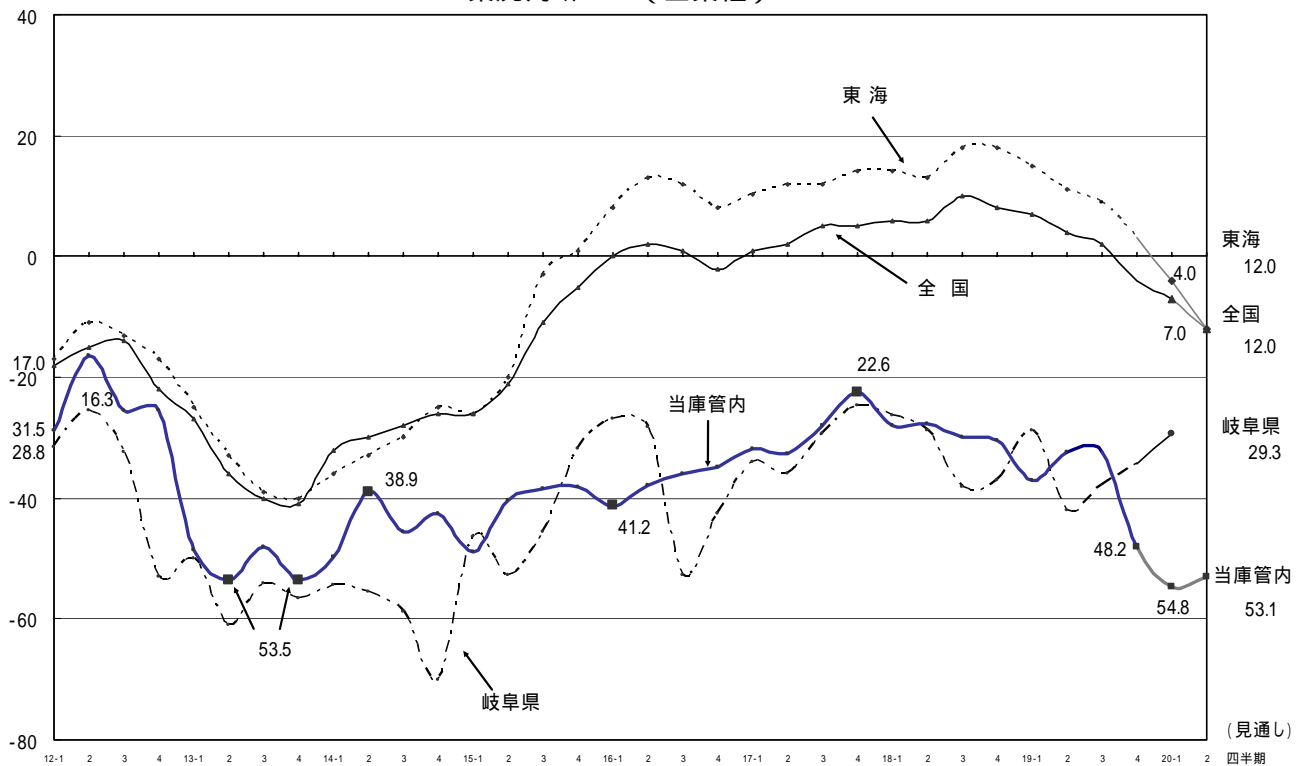
- 調査目的 郡上市・下呂市・高山市・大野郡白川村の当金庫取引先を中心とした景気動向
- 調査対象 当金庫取引先 235先
 （郡上市202社 下呂市19社 高山市・大野郡白川村14社）
- 調査時期 平成20年4月1日～6月30日
- 調査時点 平成20年6月25日時点
- 回収状況 配付数 235先（うち回収数177先） 回収率 75.3%
- 調査項目 (1)業況判断 (2)売上高・受注額 (3)採算水準 (4)資金繰り
 (5)製品(商品)在庫 (6)設備投資 (7)経営上の問題点 (8)業況の回復時期
- 補足調査 製造業、小売業の「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期との比較
- 参考資料 有効求人倍率について
- 調査方法並びに注意事項
- ・アンケート項目毎の増加（上昇・好転等）企業割合と減少（低下・悪化等）企業割合の差による数値判断...D.I.(ディフュージョン・インデックス)
 - ・数値のほかグラフも掲載致しました。
 - ・比率に関しては小数点第2位を四捨五入しております。
 - ・建設業に関しては、「売上、受注」項目において「受注」として別掲扱いとしております。

1. 業況判断

全業種の業況判断D.I.(良い-悪い)は、今期(平成20年4~6月期) 54.8と前期(平成20年1~3月期)に比べ6.6ポイント悪化となりました。業種別では、サービス業で42.8ポイント、農業で30.0ポイント、小売業で4.8ポイント改善が見られたものの、不動産業で横這い、飲食業、建設業、製造業、卸売業で悪化となりました。地域内の業況は依然として厳しい状況が続いています。

来期(平成20年7~9月期)の業況判断見通しは、不動産業、卸売業、製造業で悪化の見通しですが、農業では改善の見通し、飲食業、サービス業で横這い、建設業、小売業では僅かながら改善するものの依然厳しい状況に変わりはありません。その結果、予想業況判断D.I.は 53.1と1.7ポイントの改善予想となっています。

業況判断D.I.(全業種)



(注)「全国」「東海」は日銀短観、「岐阜県」は国民生活金融公庫岐阜支店による。

業況判断

(%)

業種	H20年1月~3月(前期)				H20年4月~6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I	良い	良悪なし	悪い	D I
製造業	22.8	29.8	47.4	24.6	16.0	24.0	60.0	44.0	12.0	30.0	58.0	46.0
卸売業	21.4	14.3	64.3	42.9	14.3	14.3	71.4	57.1	7.1	14.3	78.6	71.5
小売業	3.8	26.4	69.8	66.0	6.1	26.5	67.3	61.2	2.0	40.8	57.1	55.1
飲食業	0.0	42.9	57.1	57.1	0.0	15.4	84.6	84.6	0.0	15.4	84.6	84.6
サービス業	0.0	28.6	71.4	71.4	21.4	28.6	50.0	28.6	21.4	28.6	50.0	28.6
建設業	8.3	37.5	54.2	45.9	7.4	18.5	74.1	66.7	7.4	25.9	66.7	59.3
不動産業	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	33.3	50.0	33.3	0.0	50.0	50.0	50.0
農業	0.0	20.0	80.0	80.0	25.0	0.0	75.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0
全業種	11.2	29.4	59.4	48.2	11.3	22.6	66.1	54.8	8.5	29.9	61.6	53.1

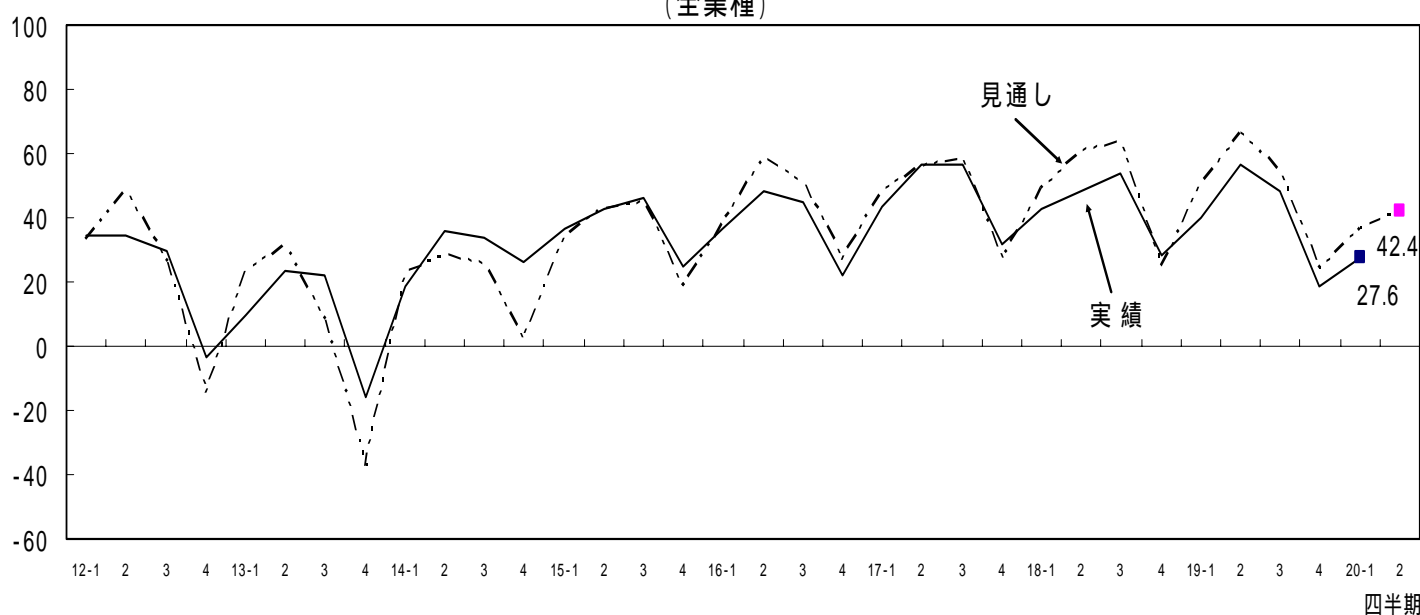
2. 売上・受注

(1) 売上

建設業を除く売上額判断D.I.(増加-減少)は、今期27.6と前期18.8に比べ8.8ポイント改善となりました。業種別では、農業、製造業、サービス業、小売業で改善をみた一方、卸売業で横這い、飲食業、不動産業で悪化となりました。

来期の見通しは、製造業で4.0ポイント悪化、飲食業、農業で横這い、卸売業、不動産業、小売業、サービス業で改善の見通しとなっており、その結果、予想売上判断D.I.は42.4と今期より14.8ポイントの改善予想となっています。

売上 D I
(全業種)



売上

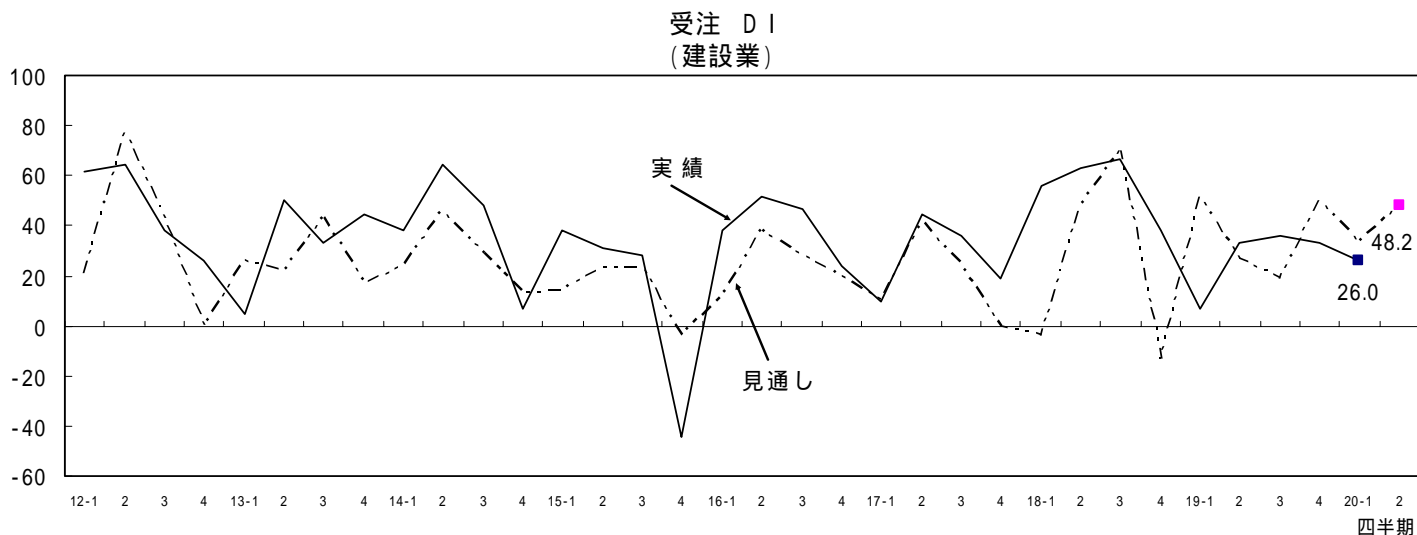
(%)

業種	H20年1月～3月(前期)			H20年4月～6月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
製造業	54.4	45.6	8.8	64.0	36.0	28.0	62.0	38.0	24.0
卸売業	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	78.6	21.4	57.2
小売業	49.1	50.9	1.8	51.0	49.0	2.0	65.3	34.7	30.6
飲食業	64.3	35.7	28.6	46.2	53.8	7.6	46.2	53.8	7.6
サービス業	50.0	50.0	0.0	57.1	42.9	14.2	71.4	28.6	42.8
不動産業	100.0	0.0	100.0	83.3	16.7	66.6	100.0	0.0	100.0
農業	20.0	80.0	60.0	75.0	25.0	50.0	75.0	25.0	50.0
全業種	59.4	40.6	18.8	63.8	36.2	27.6	71.2	28.8	42.4

(2) 受注

建設業（建築工事19先、土木工事12先）の受注判断D.I.（増加-減少）は、今期26.0と前期33.4に比べ7.4ポイント悪化となりました。

来期の見通しは、土木工事で33.4ポイント、建築工事で13.4ポイントの改善見通しとなっており、来期の予想受注高判断D.I.は48.2と今期より22.2ポイントの改善予想となっています。



受注 (%)

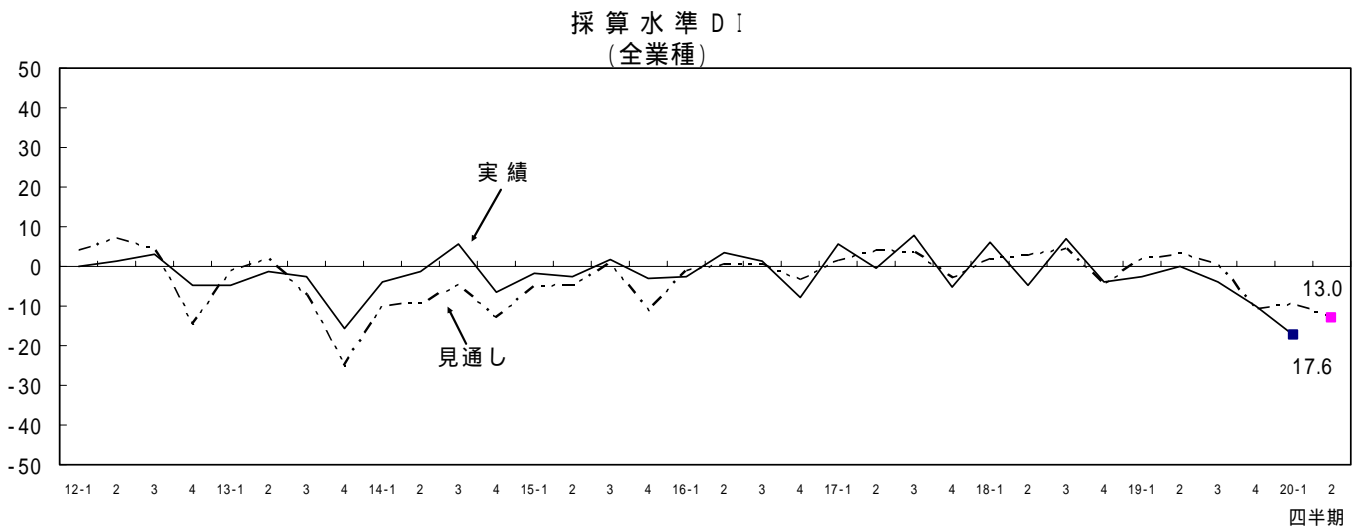
業種	H20年1月～3月(前期)			H20年4月～6月(今期)			これから3ヵ月間の見通し		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
建設業(受注)	66.7	33.3	33.4	63.0	37.0	26.0	74.1	25.9	48.2

3. 採算水準

全業種の採算水準判断D.I.(黒字-赤字)は、今期 17.6と前期 10.2に比べ7.4ポイント悪化し、調査開始以来最も低い水準となりました。業種別では、不動産業、農業、小売業で改善となりましたが、飲食業、卸売業、サービス業、建設業、製造業で悪化となりました。

今回、採算水準で赤字と回答された先にその原因をお聞きしたところ、不動産業、建設業、小売業で売上の減少が大きな要因との回答でした。一方、原材料の高騰等によるコスト増が大きな要因と回答された先は、農業、飲食業、サービス業でした。

来期の見通しは、小売業、飲食業で悪化見通しとなっていますが、不動産業、農業で横這い、卸売業、建設業、サービス業、製造業で改善する見通しとなっており、その結果、予想採算水準判断D.I.は 13.0と4.6ポイントの改善予想となっています。



採算水準

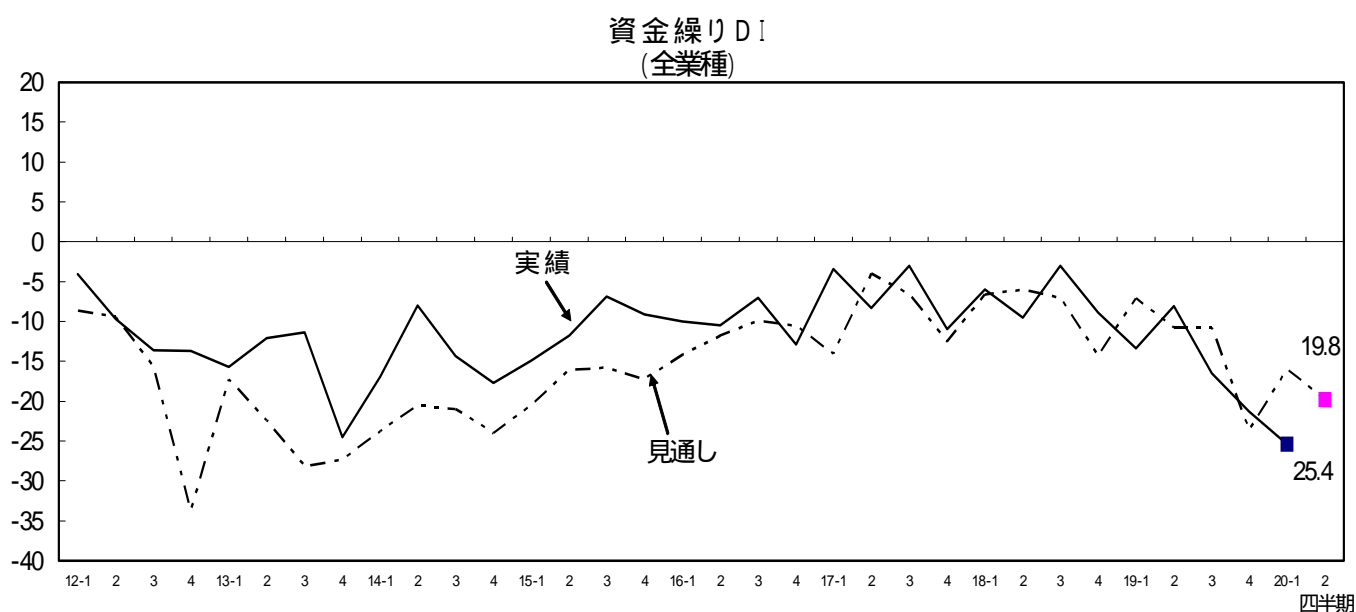
(%)

業種	H20年1月～3月(前期)				H20年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	黒字	収支トイ	赤字	D I	黒字	収支トイ	赤字	D I	黒字	収支トイ	赤字	D I
製造業	26.3	50.9	22.8	3.5	20.0	52.0	28.0	8.0	18.0	58.0	24.0	6.0
卸売業	14.3	50.0	35.7	21.4	21.4	21.4	57.1	35.7	14.3	57.1	28.6	14.3
小売業	18.9	49.1	32.1	13.2	20.4	49.0	30.6	10.2	18.4	49.0	32.7	14.3
飲食業	7.1	57.1	35.7	28.6	7.7	38.5	53.8	46.1	0.0	53.8	46.2	46.2
サービス業	21.4	50.0	28.6	7.2	14.3	50.0	35.7	21.4	14.3	64.3	21.4	7.1
建設業	12.5	58.3	29.2	16.7	3.7	63.0	33.3	29.6	14.8	55.6	29.6	14.8
不動産業	16.7	83.3	0.0	16.7	50.0	33.3	16.7	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3
農業	0.0	40.0	60.0	60.0	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	50.0	50.0
全業種	18.7	52.4	28.9	10.2	16.9	48.6	34.5	17.6	15.8	55.4	28.8	13.0

4. 資金繰り

全業種の資金繰り判断D.I.(好転-悪化)は、今期 25.4と前期 21.3に比べ4.1ポイントの悪化と、調査開始以来最も低い水準となりました。業種別では、小売業、建設業で改善となりましたが、卸売業で横這い、不動産業、飲食業、製造業、サービス業、農業で悪化となりました。

来期の見通しは、飲食業、建設業、不動産業で横這いとなる見通しですが、農業、サービス業、小売業、卸売業、製造業で改善する見通しとなっており、その結果、予想資金繰り判断D.I.は 19.8と5.6ポイントの改善予想となっています。



資金繰り

(%)

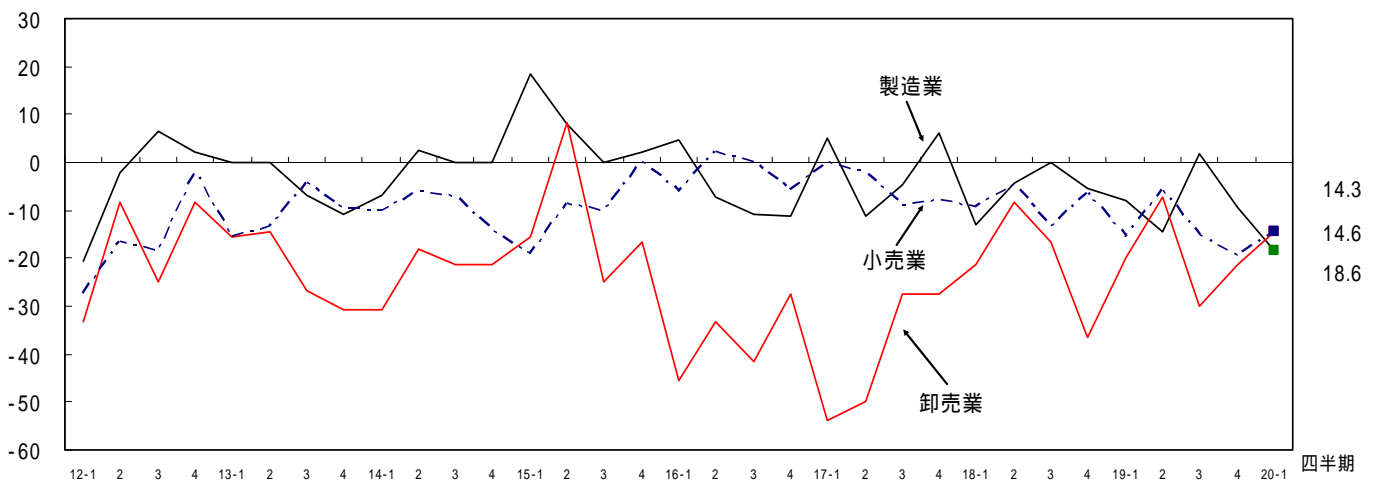
業種	H20年1月～3月(前期)				H20年4月～6月(今期)				これから3ヵ月間の見通し			
	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I	好転	不変	悪化	D I
製造業	8.8	68.4	22.8	14.0	4.0	70.0	26.0	22.0	4.0	74.0	22.0	18.0
卸売業	14.3	42.9	42.9	28.6	7.1	57.1	35.7	28.6	7.1	64.3	28.6	21.5
小売業	3.8	64.2	32.1	28.3	2.0	71.4	26.5	24.5	2.0	79.6	18.4	16.4
飲食業	0.0	71.4	28.6	28.6	7.7	38.5	53.8	46.1	7.7	38.5	53.8	46.1
サービス業	7.1	64.3	28.6	21.5	0.0	71.4	28.6	28.6	7.1	71.4	21.4	14.3
建設業	4.2	62.5	33.3	29.1	7.4	59.3	33.3	25.9	11.1	51.9	37.0	25.9
不動産業	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
農業	0.0	80.0	20.0	20.0	0.0	75.0	25.0	25.0	25.0	50.0	25.0	0.0
全業種	7.0	64.7	28.3	21.3	4.0	66.7	29.4	25.4	5.6	68.9	25.4	19.8

5 . 製品(商品)在庫

製品（商品）在庫判断D.I.（不足 - 過大）は、製造業で 18.6と9.1ポイント悪化となりましたが、卸売業で 14.3と7.1ポイント、小売業で 14.6と5.0ポイントそれぞれ改善となりました。

製造業は在庫不足と感じている割合が低下し、過大と感じている割合が上昇しています。卸売業は過大感は前期と同水準となっていますが、不足感は上昇し、適正感は低下しています。小売業は不足感、過大感が低下し、適正感が上昇しました。

製品(商品)在庫D I



製品(商品)在庫

(%)

業種	H20年1月～3月(前期)				H20年4月～6月(今期)			
	不足	適正	過大	D I	不足	適正	過大	D I
製造業	9.4	71.7	18.9	9.5	7.0	67.4	25.6	18.6
卸売業	14.3	50.0	35.7	21.4	21.4	42.9	35.7	14.3
小売業	13.7	52.9	33.3	19.6	10.4	64.6	25.0	14.6

6. 設備投資

設備投資は今期「行った」とする割合は23.7%と前期に比べ2.5ポイント低下しました。

今期の投資目的としては、「機械・設備の新・増設」、「機械・設備の更改」が11件と最も多く、続いて「事務機器」、「車輛」が6件、「事業用土地・建物」が5件、「その他」3件の順となっています。

来期に設備投資を「行う」とする割合は13.0%と今期より10.7ポイント低下する見込みです。

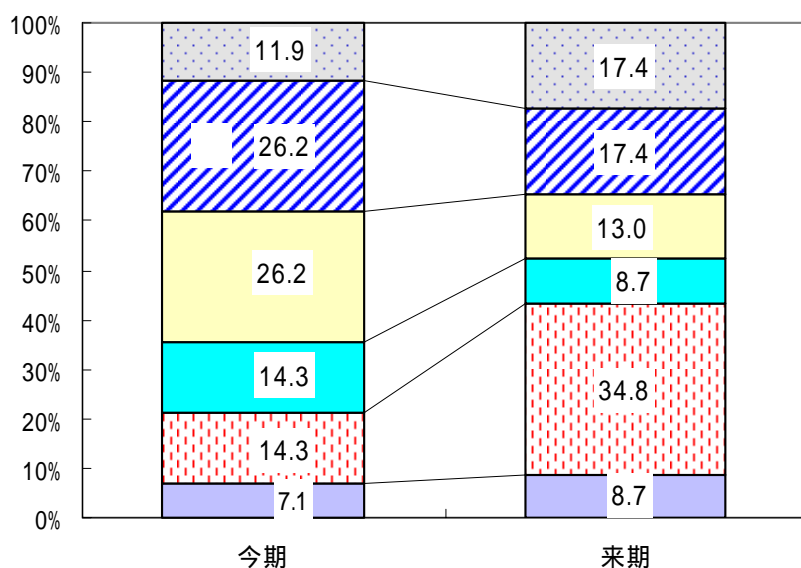
設備投資

(%)

業種	H20年1月～3月(前期)		H20年4月～6月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	行った	行わなかった	行った	行わなかった	行う	行わない
製造業	35.1	64.9	34.0	66.0	16.0	84.0
卸売業	21.4	78.6	21.4	78.6	7.1	92.9
小売業	18.9	81.1	18.4	81.6	10.2	89.8
飲食業	14.3	85.7	7.7	92.3	7.7	92.3
サービス業	7.1	92.9	28.6	71.4	14.3	85.7
建設業	37.5	62.5	18.5	81.5	14.8	85.2
不動産業	33.3	66.7	50.0	50.0	33.3	66.7
農業	40.0	60.0	0.0	100.0	0.0	100.0
全業種	26.2	73.8	23.7	76.3	13.0	87.0

投資目的

区分	H20年4月～6月(今期)		これから3ヵ月間の見通し	
	件数	割合	件数	割合
事業用土地・建物	5	11.9	4	17.4
機械・設備の新・増設	11	26.2	4	17.4
機械・設備の更改	11	26.2	3	13.0
事務機器	6	14.3	2	8.7
車輛	6	14.3	8	34.8
その他	3	7.1	2	8.7
合計	42	100.0	23	100.0



7. 経営上の問題点

売上の停滞・減少とする回答割合が43.5%と最も多く、次に利幅の縮小が26.6%、その他9.6%、販売競争激化6.2%、問題なし4.0%と続き、景気見通しは依然後退局面にある事を示しています。

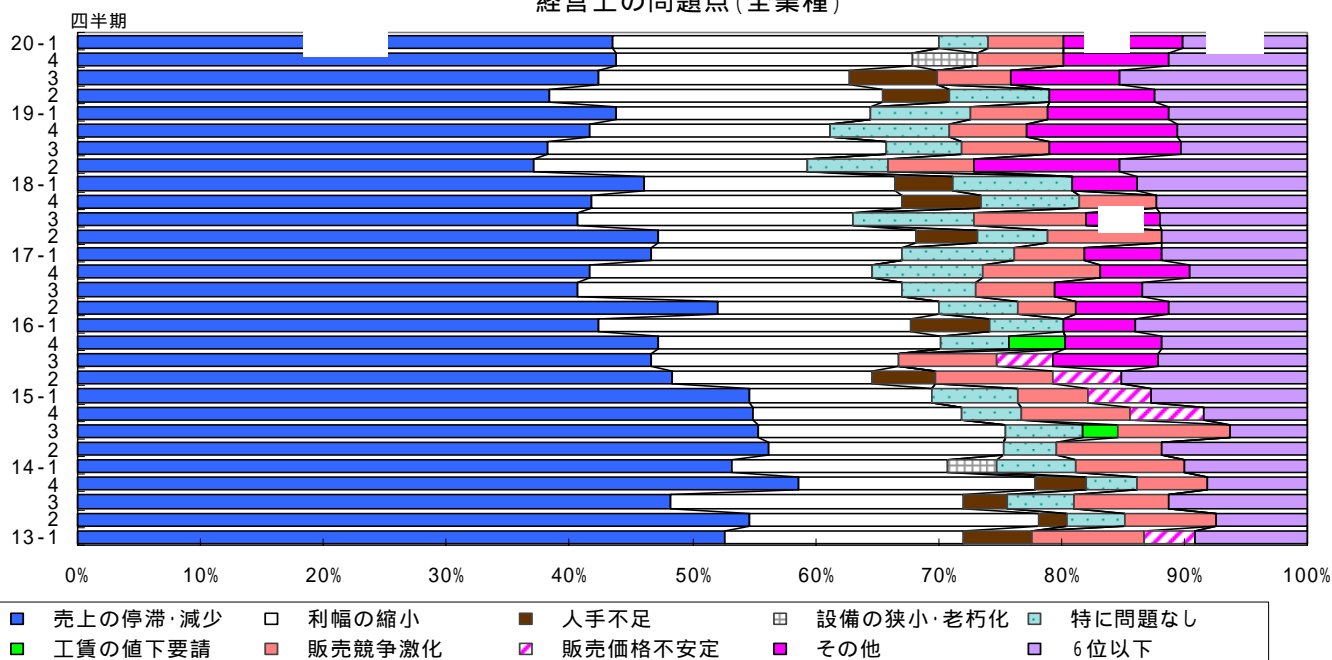
今期も1、2、3位に順位の変動はありませんでした。内容としては、1位の「売上の停滞・減少」は43.5%（前期より0.4ポイント減少）と全業種で1位、また2位の「利幅の縮小」は26.6%（前期より2.5ポイント増加）と全業種で2位となっており、いずれも依然深刻な問題となっています。なお、不動産業では「売上の停滞・減少」、「その他」が33.3%と同率の1位となっています。

経営上の問題点

(%)

業種	1位	2位	3位	4位	5位
製造業	売上の停滞・減少 40.0	利幅の縮小 28.0	人手不足 6.0	販売競争激化 6.0	問題なし 6.0
卸売業	売上の停滞・減少 85.7	利幅の縮小 7.1	問題なし 7.1		
小売業	売上の停滞・減少 38.8	利幅の縮小 28.6	販売競争激化 10.2	販売価格の不安定 10.2	設備狭小・老朽化 4.1
飲食業	売上の停滞・減少 61.5	利幅の縮小 15.4	その他 15.4	販売競争激化 7.7	
サービス業	売上の停滞・減少 42.9	利幅の縮小 42.9	設備狭小・老朽化 7.1	問題なし 7.1	
建設業	売上の停滞・減少 37.0	その他 29.6	利幅の縮小 22.2	設備狭小・老朽化 3.7	販売競争激化 3.7
不動産業	売上の停滞・減少 33.3	その他 33.3	利幅の縮小 16.7	販売競争激化 16.7	
農業	利幅の縮小 75.0	その他 25.0			
全業種	売上の停滞・減少 43.5	利幅の縮小 26.6	その他 9.6	販売競争激化 6.2	問題なし 4.0

経営上の問題点(全業種)



(%)

区分	17-1	2	3	4	18-1	2	3	4	19-1	2	3	4	20-1
売上の停滞・減少	46.6	47.2	40.1	40.3	46.1	37.1	38.1	40.0	43.8	38.4	42.3	43.9	43.5
利幅の縮小	20.5	21.1	22.2	24.3	20.4	22.4	27.4	18.8	20.6	27.0	20.3	24.1	26.6
その他	6.3	-	6.0	-	5.4	11.8	10.7	11.8	9.8	8.6	8.8	8.6	9.6
販売競争激化	5.7	9.4	9.0	6.1	-	7.1	7.1	5.9	6.2	-	6.0	7.0	6.2
特に問題なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0
設備の狭小・老朽化	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5.3	-
販売価格の不安定	9.1	5.6	9.6	7.7	9.6	6.5	6.0	9.4	8.2	8.1	-	-	-
人手不足	-	5.0	-	6.1	4.8	-	-	-	-	5.4	7.1	-	-
工賃の値下要請	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

8. 業況の回復時期

業況の回復時期は、「平成20年10～12月」が5.1%と最も多く、次いで「すでに回復」、「平成21年4月～9月」が2.8%となっております。

しかし「わからない」との回答が84.7%と最も多く、依然として先行き不透明感が強く出ています。

業況の回復時期

(先、%)

業種	回答企業数	すでに回復	平成20年		平成21年		4～9月	10月以降	わからない
			7～9月	10～12月	1～6月				
製造業	50	6.0	0.0	4.0	2.0	2.0	2.0	84.0	
卸売業	14	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	78.6	
小売業	49	2.0	4.1	8.2	2.0	4.1	2.0	77.6	
飲食業	13	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
サービス業	14	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
建設業	27	3.7	0.0	7.4	0.0	0.0	0.0	88.9	
不動産業	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
農業	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	
全業種	177	2.8	1.7	5.1	1.1	2.8	1.7	84.7	

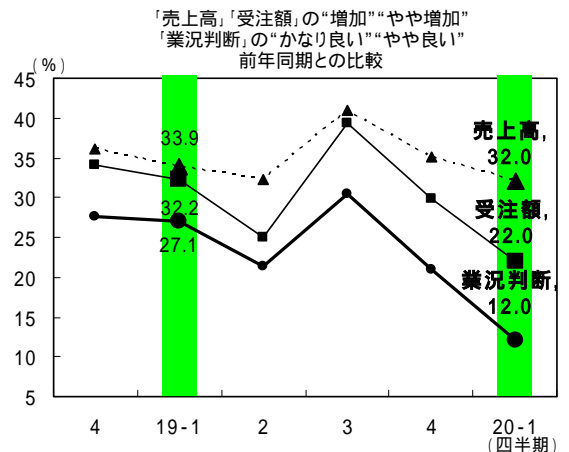
補足調査

製造業、小売業について「売上高」「受注額」「業況判断」の前年同期(第1四半期)との比較調査を每期実施しております。

製造業の「売上高」では、前年同期(回答数59先)は“増加”“やや増加”の回答が33.9%(20先)に対し、今期(回答数50先)は32.0%(16先)と1.9ポイント減少、「受注額」では同様32.2%(19先)に対し、22.0%(11先)と10.2ポイント減少となっております。

「業況判断」では前年同期は“かなり良い”“やや良い”が27.1%(16先)に対して、今期は12.0%(6先)と15.1ポイント減少となっております。

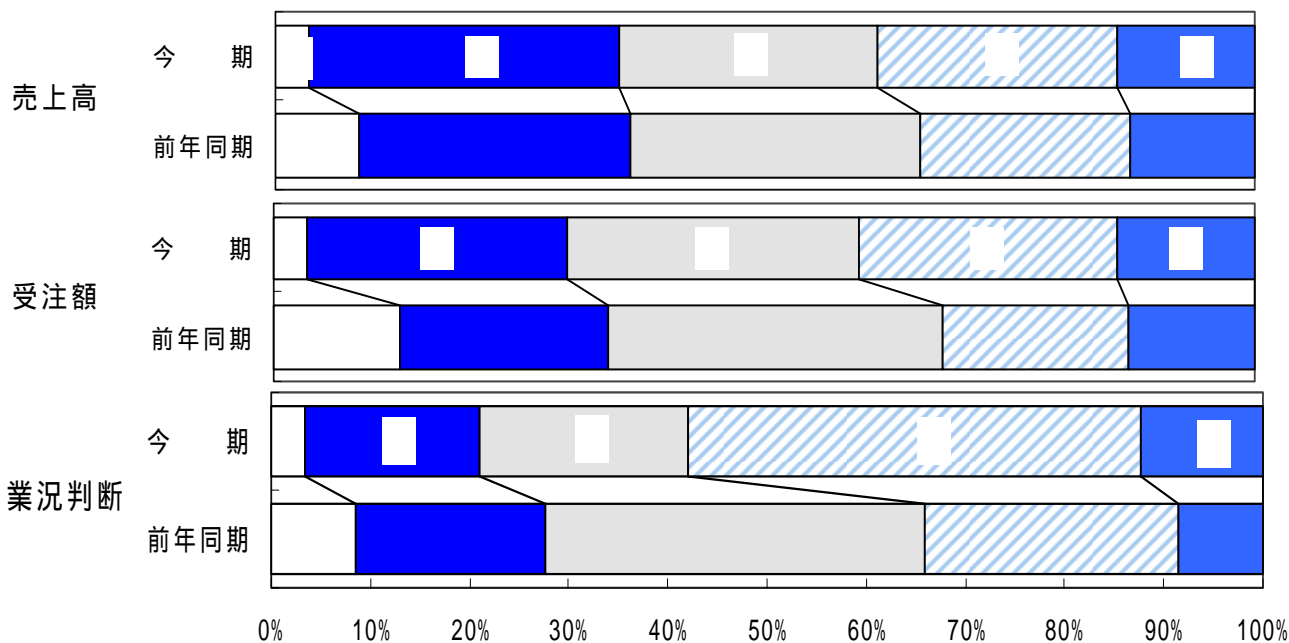
製造業は「業況判断」「売上高」「受注額」ともに前年同期よりポイントが減少しています。



<製造業>

(先、%)

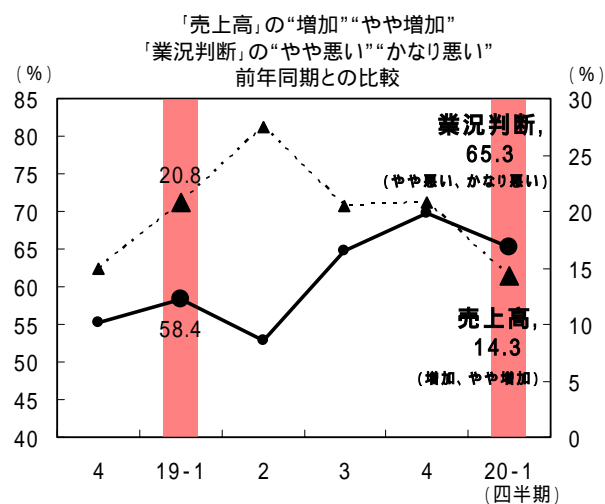
区分	売上高		受注額		区分	業況判断	
	19年4～6月	20年4～6月	19年4～6月	20年4～6月		19年4～6月	20年4～6月
増加	5	8.5	1	2.0	かなり良い	1	1.7
やや増加	15	25.4	15	30.0	やや良い	15	25.4
変らず	23	39.0	14	28.0	良くも悪くもない	21	35.6
やや減少	10	16.9	7	14.0	やや悪い	17	28.8
減少	6	10.2	13	26.0	かなり悪い	5	8.5
合計	59	100.0	59	100.0	合計	59	100.0



小売業の「売上高」では前年同期（回答数53先）は“増加”“やや増加”の割合が20.8%（11先）に対し、今期（回答数49先）は14.3%（7先）と6.5ポイント減少となっています。

「業況判断」では“やや悪い”“かなり悪い”が58.4%（31先）であったのに対し、今期は65.3%（32先）と前年同期に比べ6.9ポイント増加となっています。

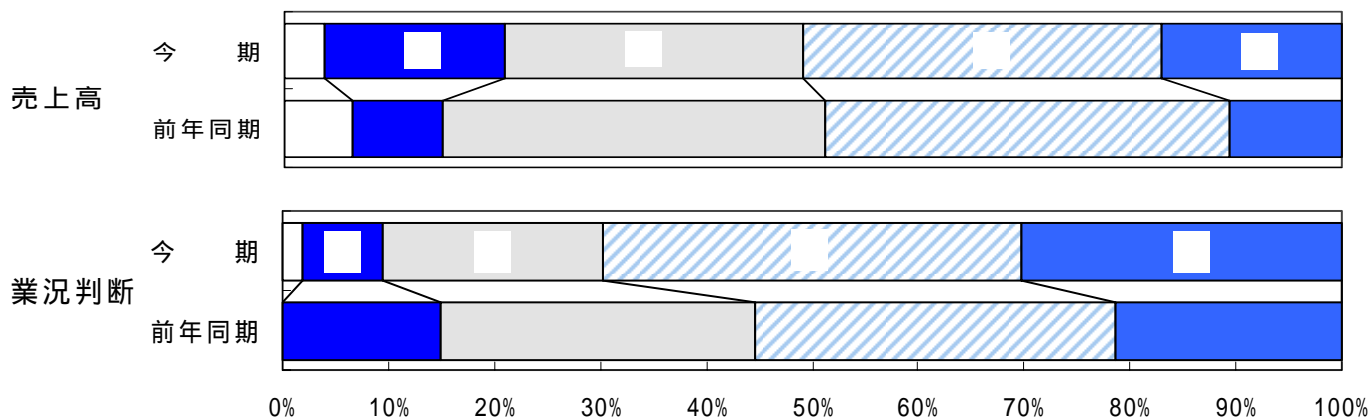
小売業の業況改善に見通しが立たない事から、依然として、地域内における個人消費の停滞感がうかがえます。



< 小売業 >

(先、%)

区分	売上高				区分	業況判断			
	19年4~6月		20年4~6月			19年4~6月		20年4~6月	
増加	2	3.8	0	0.0	かなり良い	0	0.0	0	0.0
やや増加	9	17.0	7	14.3	やや良い	5	9.4	3	6.1
変わらず	19	35.8	17	34.7	良くも悪くもない	17	32.1	14	28.6
やや減少	16	30.2	14	28.6	やや悪い	19	35.8	21	42.9
減少	7	13.2	11	22.4	かなり悪い	12	22.6	11	22.4
合計	53	100.0	49	100.0	合計	53	100.0	49	100.0



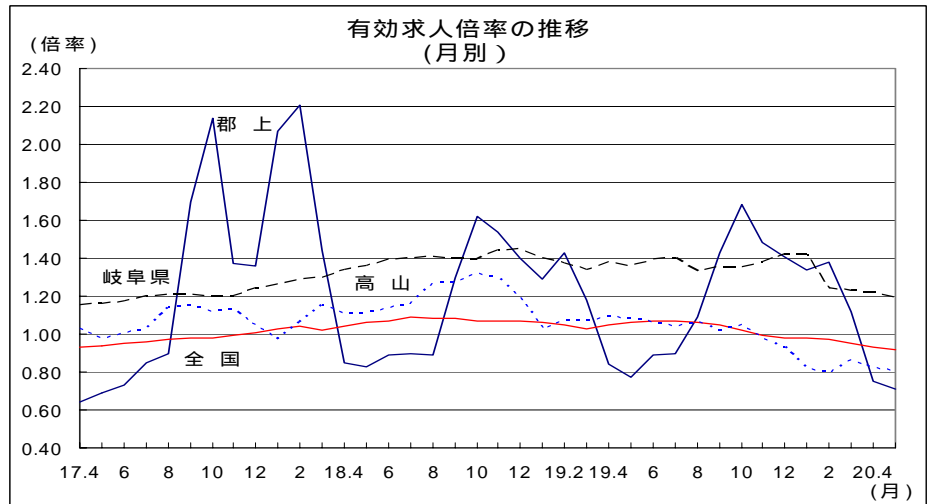
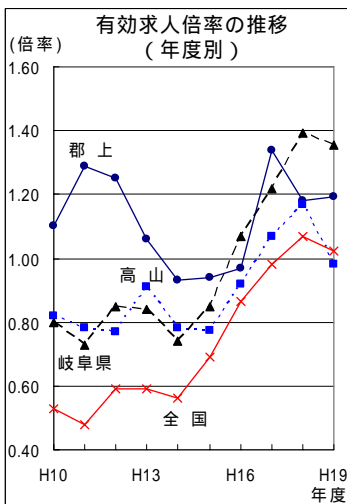
有効求人倍率について

岐阜八幡(郡上市)、高山の公共職業安定所のご協力を得て、有効求人倍率(学卒を除きパートを含む)を掲載いたしております。

岐阜八幡管内の5月の有効求人倍率は、0.71倍で前月比0.04ポイント減少、前年同月比で0.06ポイント減少となりました。新規求人数は163人、前年同月比27人減となりました。高山管内の5月の同倍率は0.81倍で、前月比0.01ポイント減少、前年同月比0.27ポイント減少となりました。新規求人数は832人、前年同月比207人減となりました。

また、全国および岐阜県の5月の有効求人倍率は、全国が前月比0.01ポイント減少の0.92倍、岐阜県は前月比0.03ポイント低下の1.19倍となりました。

$$\text{有効求人倍率} = \frac{\text{月間有効求人数}}{\text{月間有効求職者数}}$$



年度別有効求人倍率

区分	H10年度	H11年度	H12年度	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度
郡上	1.10	1.29	1.25	1.06	0.93	0.94	0.97	1.33	1.18	1.19
高山	0.82	0.78	1.00	0.90	0.77	0.77	0.92	1.07	1.17	0.98
岐阜県	0.76	0.74	0.89	0.78	0.74	0.84	1.07	1.21	1.39	1.35
全国	0.50	0.49	0.62	0.56	0.56	0.69	0.86	0.99	1.07	1.02

有効求人倍率

区分	18.4	5	6	7	8	9	10	11	12	19.1	19.2	3
郡上	0.85	0.83	0.89	0.90	0.89	1.30	1.62	1.54	1.40	1.29	1.43	1.18
高山	1.11	1.11	1.14	1.16	1.27	1.27	1.32	1.30	1.19	1.03	1.07	1.07
岐阜県	1.34	1.36	1.39	1.40	1.41	1.40	1.39	1.44	1.45	1.40	1.37	1.34
全国	1.04	1.06	1.07	1.09	1.08	1.08	1.07	1.07	1.07	1.06	1.05	1.03

区分	19.4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
郡上	0.84	0.77	0.89	0.90	1.09	1.43	1.68	1.48	1.41	1.34	1.38	1.12
高山	1.09	1.08	1.06	1.04	1.06	1.02	1.05	0.98	0.93	0.82	0.79	0.86
岐阜県	1.38	1.36	1.39	1.40	1.33	1.35	1.35	1.38	1.42	1.42	1.24	1.23
全国	1.05	1.06	1.07	1.07	1.06	1.05	1.02	0.99	0.98	0.98	0.97	0.95

区分	20.4	5
郡上	0.75	0.71
高山	0.82	0.81
岐阜県	1.22	1.19
全国	0.93	0.92